

意見書案第1号

すべての国の核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和を実現するための意見書について

すべての国の核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和を実現するために、別紙のとおり意見書を提出する。

平成28年6月24日提出

総務文教厚生委員会

委員長 丸 山 忠 男

## すべての国の核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和を実現するための意見書

真の恒久平和と安全の願いは、人類共通のものである。

今日、緊張緩和のもと、核軍縮への努力とその成果はあるものの、依然として核兵器による世界平和への脅威は深刻なものがある。

我が国は、世界唯一の被爆国として戦争の悲惨さを子々孫々に伝え、地球上に再びその惨禍を繰り返させてはいけない歴史的使命を担っている。

日本国憲法の平和を求め戦争を放棄する崇高な理念に基づき、未来へ誇りうる郷土と豊かな暮らしを次の世代に引き継ぐことは、我々の責務であり、地方自治の基本理念でもある。

よって、本市議会における非核平和都市宣言決議（平成2年9月25日）のとおり、すべての国の核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和を実現するため、日本政府に対し、以下のとおり要望する。

### 記

すべての国の核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和を実現するため、唯一の戦争被爆国として、日本政府が国際社会の中で主導的役割を果たす行動をとること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成28年6月24日

福井県勝山市議会